

(114)

氏名(生年月日) 梁 取 純 美 子  
 ヤナ ドリ エ ミ コ

本 籍  
 学位の種類 博士(医学)  
 学位授与の番号 乙第 2075 号  
 学位授与の日付 平成 13 年 3 月 16 日  
 学位規則第 4 条第 2 項該当(博士の学位論文提出者)  
 学位論文題目 臨床病理学的特徴からみた多発胃癌の治療  
 論文審査委員 (主査) 教授 高崎 健  
 (副査) 教授 小田 秀明, 亀岡 信悟

### 論文内容の要旨

#### 〔目的〕

同時性多発胃癌は全胃癌症例の 10% 前後にみられ、近年の画像診断の進歩とともに、術前に多発胃癌と診断される症例が増加してきている。また、微小胃癌に対する縮小手術が増加している近年において、胃残病変の問題を考える上で多発胃癌の臨床的重要性は高い。そこで、切除多発胃癌の臨床病理学的所見から、その特徴と治療について検討を行った。

#### 〔対象および方法〕

1968 年から 1994 年の 27 年間に当教室で切除した初発多発胃癌 6,715 例中、組織学的に同時性多発胃癌と診断された 447 例を対象とし、同時期に切除した単発胃癌 6,268 例を対照に臨床病理学的比較検討を行った。

#### 〔結果〕

1. 多発胃癌の頻度は 6.7% であり、単発胃癌に比べて高齢者、男性が多く、主病巣は早期癌、分化型腺癌、隆起型の割合が高かった。

2. 主病巣と副病巣の関係は早期癌同士、分化型同士が多く、同一領域または隣接領域に存在するものが約 9 割を占めていた。

3. 多発胃癌の副病巣は腫瘍径 10 mm 以下で粘膜内癌の頻度が高く、術前多発診断率は 40% と低かった。

4. 多発胃癌の主病巣と深達度別リンパ節転移程度は、単発胃癌と有意差を認めなかった。

5. 多発胃癌の進行度別 5 年生存率は単発胃癌と同程度であり、残胃の癌の発生頻度(4.7%) は単発胃癌(1.7%) と有意差を認めたが、5% に満たない値であつ

た。

#### 〔考察〕

胃癌切除例における多発胃癌の頻度は 10% 前後との報告が多く、高齢者の増加とともに、その頻度は増していくものと思われる。当教室では標本の全割を行った上で、多発胃癌の頻度は 6.7% であり、諸家の報告と同様に高齢者の男性、主病巣の組織型が分化型、早期型の症例に多く見られ、副病巣は粘膜内癌で微小なもののが多かった。当教室における術前多発診断率は 50% に満たない低い結果であり、多発胃癌の治療法を検討する上で、見逃し病巣の胃残が残胃の癌とつながることが問題になると思われたが、多発胃癌の残胃の癌の発生頻度は 5% に満たない値であった。また見逃し病巣のほとんどが、内視鏡的粘膜切除の適応症例であることより、術前、多発胃癌と診断した症例に対し、残胃の癌を予防する目的で胃全摘を行う必要はないと考えられた。しかし、近年の縮小手術適応の拡大にしたがって、今後、治療後の胃に副病巣が胃残する頻度が高くなることが予想され、多発胃癌の頻度が高い症例に縮小手術を適応させる場合には、これまで以上に術前十分な主病巣周囲の検索が必要である。

#### 〔結論〕

多発胃癌の治療は、単発胃癌と同様に主病巣の深達度および占居部位に応じた切除範囲とリンパ節郭清でよいと考えられる。術後、残胃の厳重な follow up が重要であり、粘膜内癌のうちに再発が確認されれば、内視鏡的粘膜切除による治療が可能な病変が多いと考えられた。

## 論文審査の要旨

胃癌は胃内に多発する症例があるが、特に早期胃癌では多発病変が多く認められている。この多発胃癌の取り扱いについて臨床症例を整理して検討した研究である。進行胃癌に併存した多発病巣には早期胃癌の率が高い。この多発病巣の部位は同じ領域に存在している例が多いので、外科切除は通常の方法で行えば合併切除されてしまう。術後早期の再発発見により、内視鏡的切除で対応はできるとしている。

### 主論文公表誌

臨床病理学的特徴からみた多発胃癌の治療

日本消化器外科学会雑誌 第34巻 第1号  
9-14頁(平成13年1月1日発行) 梁取絵美子,  
小熊英俊, 笹川 剛, 喜多村陽一, 高崎 健

### 副論文公表誌

1) 残胃の癌におけるリンパ節郭清の検討. 日臨外会

誌 60(3): 626-630 (1999) 荘加 潤, 鈴木博孝,  
喜多村陽一, 小熊英俊, 梁取絵美子, 高崎 健

- 2) 進行性狭窄を呈した食道の inflammatory pseudotumor の1例. 日消外会誌 33(8): 1483-1487 (2000) 鈴木修司, 林 恒男, 田中精一, 今里雅之, 武雄康悦, 梁取絵美子, 木村政人, 鈴木 衛, 羽生富士夫, 笠島 武